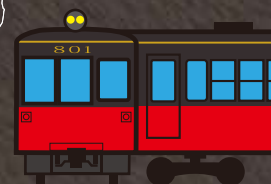




鉄道で行く千葉



第4回

銚子電気鉄道

Choshi-dentetsu



あしかしま
両側に広がる特産のキャベツ畑の中を走る、デハ801形電車(海鹿島～君ヶ浜間)

- 銚子
- 仲ノ町
- 観音
- 本銚子
- 笠上黒生
(かさがみくろほえ)
- 西海鹿島
(にしあしかしま)
- 海鹿島
(あしかしま)
- 君ヶ浜
- 犬吠
- 外川
(とかわ)

海の街、千葉の
いちばん東にある
銚子を走る6.4キロの
小さな路線。
のどかな風景の中を、
昭和を感じさせる
レトロなデザインの
車両が走ります。



銚子電気鉄道は、JRと接続する銚子駅から、外川（とかわ）駅までの6.4kmを結ぶ単線の路線です。元々は犬吠埼への観光輸送と、外川漁港からの鮮魚の輸送、さらに仲ノ町駅に隣接する醤油会社（ヤマサ醤油）の荷物を運ぶことを目的に建設された路線でしたが、現在は旅客輸送専門となっています。

駅の数、JRの駅を使用する銚子駅を除き9駅。これを19分で走ります。

車両は、いろいろな鉄道会社から購入、譲り受けたものが中心ですが、その昭和の面影を強く残したレトロな雰囲気の色使いやデザインにはファンが多く、全国各地から、わざわざ車両を見に来る方もいます。

必見 銚子電鉄の人気No.1 ドイツ製小型電気機関車「デキ3」



1922年（大正11年）に製造された、ドイツのアルゲマイネ社製の小さな凸型電気機関車。銚子電鉄でどの電車よりも有名で人気がありマスコットの存在。現在は、取材や車両の移動で構内を動く程度で仲ノ町駅に動く状態で保存されています。また、「デキ3」の復刻塗装を記念した「旧塗装（復刻記念入場券セット）」も販売しています。

なお、この記念入場券セットは仲ノ町駅の硬券入場券2枚を、機関車の写真や由来を記載した台紙に貼ったもので300円（税込）で仲ノ町駅で販売しているほか、ネット通販も行っています。

〈写真：2009年（平成21年）9月に懐かしいツートンカラーに復刻塗装された「デキ3」〉

現在活躍中の 銚子電気鉄道の 車両（客車）



デハ801形

赤と黒の車両は、1985年に伊予鉄道
のモハ104形を譲り受けた車両で、
銚子電気鉄道初の戦後製造車両です。



デハ701形

1978年に入線。旧近江鉄道からやってきた車両。もともと2両1組の電車を入線と共に別々の車両にしたものです。



デハ702形

デハ701形と同じ時期に導入された同型車両です。白と青色のクラシックなデザインが特徴です。



デハ1002形

デハ1001形とともに、1994年、営団地下鉄（現東京メトロ）から譲り受けた銀座線の車両を改造したワンマン車両。銚子電気鉄道の主力電車となっています。



デハ1001形

2007年4月26日から3年間の予定で、ゲーム「桃太郎電鉄」シリーズ20周年記念のラッピングデザインがされた車両です。

今年3月から 運用開始予定の 新車両



老朽化の進んだデハ701・702・801形の車両更新のため伊予鉄道より800系4両を譲り受けました。今回導入した伊予鉄道800系はもともと京王電鉄の車両で「京王2010系」と呼ばれ、現在も鉄道ファンから根強い人気があります。関東では見られないものとなっていたため、この車両の登場はファンの間でも話題となっています。塗装はライトグリーンに塗り替えられ、今年3月から営業を開始する予定です。

〈写真：仲ノ町駅で運用に備えて整備中の新車両〉

◆ 銚子電気鉄道の歴史

◎1923年（大正12年）7月5日

銚子鉄道株式会社として営業開始
（銚子～外川 6.4km）

◎1925年（大正14年）7月1日

電化完成・電車運転開始

◎1948年（昭和23年）8月20日

銚子電気鉄道株式会社（現在）に社名変更

◎1995年（平成7年）

ワンマン運転を開始 / 4月1日

犬吠駅で「ぬれ煎餅」の売店を開業 / 9月

◎2009年（平成21年）11月6日

新車両として伊予鉄道800系4両を譲受



●仲ノ町駅（本社）の風景（戦後）



●1960年代、活躍していた頃のデハ101形。1999年（平成11年）に既に廃車された懐かしい車両です。

h
i
s
t
o
r
y

銚子電鉄に乗って。

銚子電鉄の改札は、JR銚子駅内のホームの一角にあります。銚子駅を出発すると、しばらくは民家や林のすぐ近くを通りますが、西海鹿島(にしあしかじま)駅を過ぎた辺りから車窓の風景は一変します。左右に広がるキャベツやトウモロコシの畑(季節によってかわります)。そして犬吠駅に差し掛かる頃には、遠くに犬吠埼灯台の姿も見え、終点に近づいたことを教えてくれます。



仲ノ町駅を過ぎると、外川駅に向かって左右には、ヤマサ醤油の大きな建物が見えます。工場は、約7万坪の敷地(東京ドーム4つ分)に、第1工場と第2工場が建てられています。

●銚子電鉄で発見した駅弁&お土産！

犬吠駅限定の新駅弁！！



●さんまかば焼ずし
¥780(税込)

犬吠駅限定で販売している「さんまかば焼ずし」。わさびのきいたすし飯とたれのしみ込んださんまのかば焼の押し寿司です。土・日・祝日の1日20本限りです。

話題の「ぬれ煎餅」



●ぬれ煎餅(普通味5枚入り)
¥410(税込)

銚子電鉄の名物といえば、このぬれ煎餅。銚子電鉄の下記駅で販売されているほか、ネット通販でも大人気。銚子の良質な醤油を使用したタレがよく染み込んだ柔らかいおせんべいです。

※仲ノ町駅・観音駅・笠上黒生駅・犬吠駅・外川駅にて販売

車窓からの風景

スペシャルビューポイント



ヤマサ醤油の工場と電車！

銚子駅から一駅目。仲ノ町駅の駅周辺には、引込み線が設けられ、そこには銚子電鉄で活躍する車両や、役目を終えた車両が停車しています。その背後には、大きなヤマサ醤油の建物があり、レトロな雰囲気車両とあいまって、まるで昭和の風景のような印象を受けます。



西海鹿島(にしあしかじま)駅を過ぎた辺りから左右に見渡す限りのキャベツ畑が広がっています。季節によってここにはトウモロコシも植えられます。

洋風建築の駅舎が とてもお洒落です。



銚子駅



観音駅



君ヶ浜駅



犬吠駅



君ヶ浜駅を出発し、犬吠駅に差し掛かるあたり、左側には、大きな森の向こうに犬吠埼灯台の真っ白な姿を見ることができます。

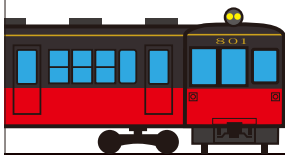


犬吠駅の白い駅舎の周りには、南国を思わせるヤシの木が植えられ、駅前には古い車両を利用したレストランも営業しています。(土・日・祝日のみオープン)



終点、外川駅の駅舎は、路線開通当時の雰囲気をそのまま残す古い建物。駅前には銚子電鉄がNHKの朝の連続テレビ小説「滞つくし」のロケ地のひとつになったことを今に伝える看板が立っています。

銚子電鉄沿線の、家族で出かけられる遊び場情報



**鉄道で
出かけよう!**

車窓からの風景や道草を思い切り楽しんだら、今度は本格的に遊べる場所を訪ねてみましょう。電車を使えばすぐに出かけられ、家族で思い切り楽しめるポイントをご紹介します。

ヤマサ醤油(工場見学)

銚子市でヤマサ醤油が醤油醸造を始めたのは1645年のこと。それから350年以上、現在に至るまで活躍している工場が、銚子電鉄の仲ノ町駅前にあります。

工場内は、一般の方でも見学可能。もろみタンクや容器詰めの様子など、いつも使っている醤油が、どのように作られているかを実際に見ることが出来ます。

工場内では、醤油の作り方が分かる、映画「しょうゆワンダーランドの旅」の上映やスイーツ用特製醤油を使用した「しょうゆソフトクリーム」の販売も行われており、ご家族連れで楽しめます(見学には予約が必要です)。



工場入口



仕込蔵



昔使用した「木の樽」



日本に現存する最古のディーゼル機関車も展示されています。



珍しい「しょうゆソフトクリーム」を販売中。【1個 250円(税込)】

- 工場見学受付時間／午前9時～11時・午後1時～3時
※工場見学は、映画上映20分と、場内見学30分、おおよそ50分のコースです。
- 見学できない日／年末年始
土・日・祝日およびゴールデンウィーク、お盆の休業日は工場が休みとなり、映画上映のみ(20分)となります。

- 料 金／無料
- 交 通／仲ノ町駅より徒歩3分
- 駐車場／あり 20台(無料)
- 問い合わせ・予約／0479-22-9809
- 住 所／〒288-0037 銚子市北小川町2570
- 公式サイト(<http://www.yamasa.com/koujyou/>)

犬吠埼灯台&犬吠埼マリnpark

犬吠駅より歩いて15分。犬吠埼の突端には、白亜の塔、犬吠埼灯台があります。この灯台は1874年(明治7年)英国人リチャード・ヘンリー・ブラントンの設計により造られたもので、日本で24番目に点灯されました。

また、駅から灯台に向かう途中には、犬吠埼マリnparkがあります。1階には熱帯系の淡水魚・大型魚、2階には銚子近海の魚と合わせて約230種類の魚が見られ、イルカショーやアシカショーも楽しめます。



幻想的な夜の犬吠埼灯台。

(犬吠埼灯台)

- 開館日／年中無休
午前8時30分～午後4時
- 料 金／大人(中学生以上)200円
- 交 通／犬吠駅より徒歩15分
- 駐車場／君ヶ浜海浜公園駐車場 300台(無料)
- 問い合わせ／0479-25-8239(午前8時30分～午後4時)
- 住 所／〒288-0012 銚子市犬吠埼9576
- (犬吠埼マリnpark)
- 開館日／年中無休
午前9時～午後5時
※11～2月は午後4時30分
※日曜日・祝日・夏休み・ゴールデンウィークは
午前8時30分～午後6時
- 料 金／大人(中学生以上)1,260円
小学生630円・幼児(3歳以上)420円
- 交 通／犬吠駅より徒歩10分
- 駐車場／あり 100台(無料)
- 問い合わせ／0479-24-0451
- 住 所／〒288-0012 銚子市犬吠埼9575-1
- 公式サイト(<http://www16.ocn.ne.jp/~inuboo/>)



犬吠埼マリnpark外観。



犬吠埼マリnpark
イルカショー。

駅前発見! 探してみよう!

あのゲーム。
『桃太郎電鉄』の銅像

犬吠駅、仲ノ町駅、笠上黒生駅の前には、あのヒットゲーム『桃太郎電鉄』にまつわる銅像が立てられています。キャラクターのテーマは、ゲームの中に登場する貧乏神! 写真は、犬吠駅に設置されている。頭のうえに犬を乗せた「貧乏がイヌ」像。他にも、仲ノ町駅には、頭のうえに猿を乗せた「貧乏がサル」像。笠上黒生駅には、頭のうえにキジを乗せた「貧乏をトリ」像があります。撫でるとご利益があるとも言われ、銚子電鉄に乗った乗客がよく像をなでている姿が見られます。



調べてみよう! 銚電クイズ?

銚子電鉄名物の犬吠駅限定の新駅弁の名前は?

1. うにチラシ弁当
2. さんまかば焼ずし
3. 海の幸づくし弁当

※正解は次号紙面で!

※前回のクイズの正解 芝山鉄道が日本一なのは「2」路線の短さ日本一!でした。

お詫びと訂正

本誌のバックナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

- 第1回 JR総武本線 その①
中面 右ページ「謎の青い塔!」19行目
「鳥羽調圧塔」→「羽鳥調圧塔」に訂正。